

2015年2月25日

陸上自衛隊中部方面総監部 御中

日本共産党和歌山県議団

雑賀 光夫

松坂 英樹

奥村 規子

高田 由一

白浜沖での自衛隊ヘリコプターの事故について

2月17日、南紀白浜空港周辺で訓練中の陸上自衛隊のヘリコプター（OH-1）が、白浜町沖の海上に不時着した。

陸上自衛隊では現在、航空事故調査委員会を設置し原因を解明中とのことであるが、早急に県民に対し、当日の訓練の内容や事故原因等を報告するべきである。

南紀白浜空港は県営空港であり、通常の航空機の離発着については民間航空機であれ自衛隊機であれ、航空法や各種規則等にのっとりして使用を許可することは当然である。しかし、報道によれば当該事故機は、空港の周辺で2基あるエンジンのうち1基を止めて飛行訓練をしていたとので、こうした危険性をともなう訓練を住宅や小学校などが隣接した南紀白浜空港でおこなうことは許されるべきではない。

また、そのような訓練を県や白浜町にも通告をすることなく実施しており、この点でも大きな問題があると考ええる。

については以下の点について申し入れる。

- 1、南紀白浜空港を使用した危険性のある訓練を中止されたい。
- 2、これまで南紀白浜空港を使用して、いつ、どのような訓練を行ってきたのか、過去にさかのぼって明らかにされたい。